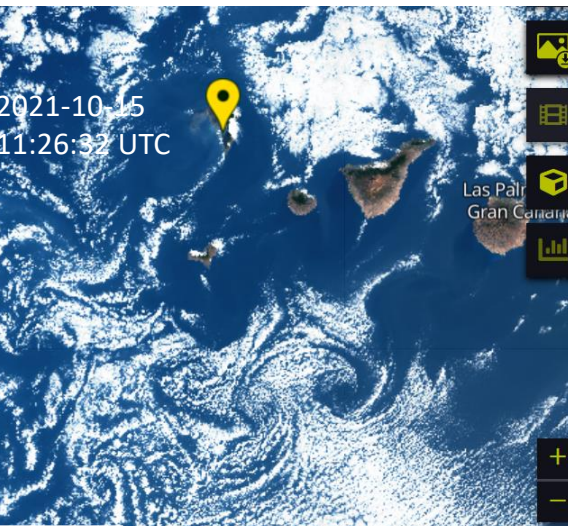
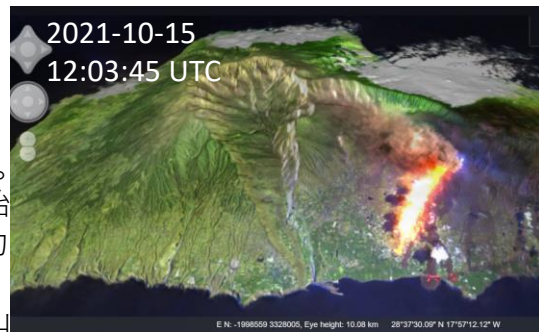
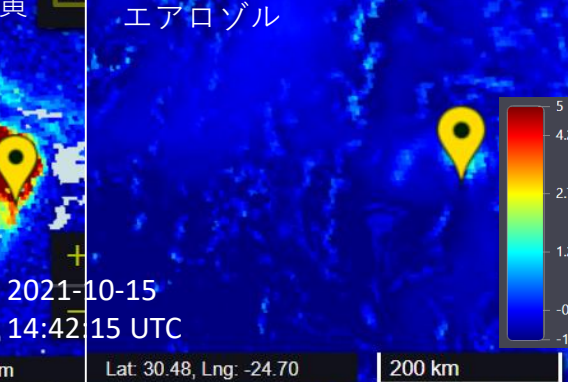


センチネル 1
2021-10-16
07:11:04 UTC
Enhanced visualization
溶岩流
崖
センチネル 3



2021-10-15
11:26:32 UTC
Las Palmas Gran Canaria

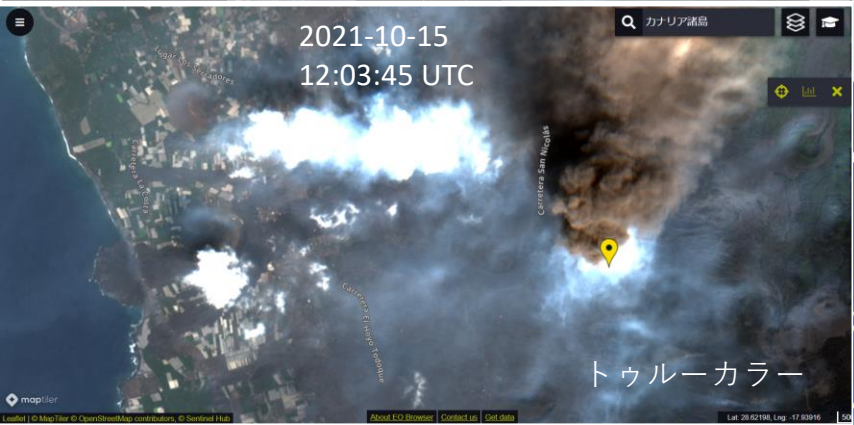
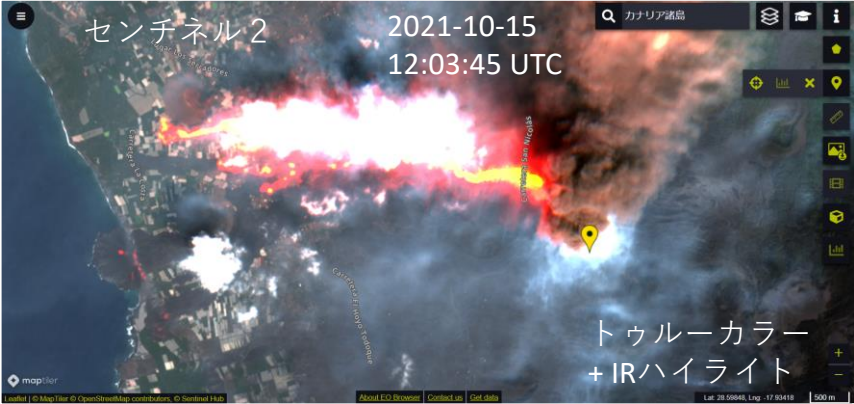


2021-10-15
12:03:45 UTC

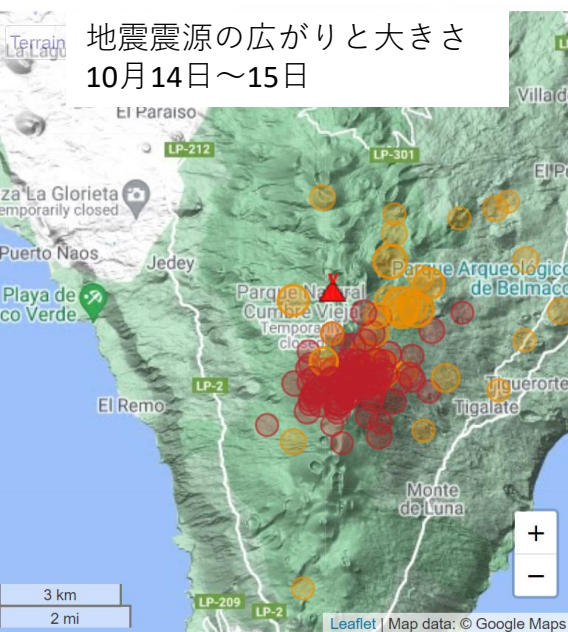
カナリア諸島は強い貿易風の影響で雲が風下で渦をつくる（カルマン渦）が発生しています。センチネル5Pでは、火山噴火にかかわりエアロゾルや二酸化硫黄が大量に排出されている様子が見えます。EOブラウザの3D表示機能で、容易に立体視することもできます。

クンブレビエハ火山

またカナリア諸島のクンブレビエハ火山の観測です。近年珍しく噴火が継続しています。9月19日に噴火が始まり、溶岩今も流れ続けています。ESAの全面的な協力で各種データが継続的に積極的に公開されています。10月15日、センチネル2、3、5Pがクンブレビエハ火山周辺を観測しました。センチネル1は10月14日に観測しています。今回はこれらの最新画像を整理しました。単に島の様子を視覚的にとらえるのではなく、センチネル2画像では高温部を鮮明にする色合成もします。センチネル3では広範囲を視覚的に把握します。



クンブレビエハ火山噴火に関する情報



クンブレビエハ火山噴火が始まる前から地震活動が活発になっていました。

噴火後の今も地震活動は活発に続いています。地下10～155kmの深さで、かなりの規模の地震がクンブレビエハ火山の地下を中心に発生しています。

10月16日にはマグニチュード4.6の地震が37kmの深さで、発生している。

<https://www.volcanodiscovery.com/la-palma-earthquakes/archive/2021-10-10-2021-10-16.html>

